

目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 富士山南東消防組合の職員募集
- 4 参議院議員通常選挙投票日
- 6 岩波駅周辺地区まちづくり基本計画を策定
- 8 富士の巻狩の地 裾野
- 10 大雨による土砂災害に備える
- 11 富士山火山防災マップの見方と使い方
- 12 学校再編地域意見交換会を開催
プロジェクトTOUKAI【東海・倒壊】
-0（ゼロ）
- 13 令和4年度市民税・県民税
- 14 フォトグラフ
- 16 インフォメーション
- 21 図書館だより
- 22 救急協力医
- 24 裾野っ子
すこやかタウン



『裾野市副市長』に就任

及川 涼介さん（27歳）

市議会2月定例会で同意され、4月1日に副市長に就任された及川さん。神奈川県横浜市の出身で2017年に総務省に入省し、岩手県庁への出向やマイナンバー制度の担当などを経験。その後、「自分自身で良いプロダクトをつくりたい」という思いで、自治体向けの電子申請システムなどを開発するベンチャー企業に転職し、事業企画や政策提言などを行っていました。

村田市長からオファーを受けて、今年3月に裾野市に引っ越し、現在は日々副市長として市内外を奔走する毎日です。職務については「新しい技術や仕組みを最大限活用して、公約をはじめとする主要政策の実現と、行政サービスの市民目線での改善に全力を尽くしたい」「まずは、市民の皆さんの声を市政に反映しやすい仕組みづくりや、電子申請の推進などで、市民サービスの向上を目指したい」と話してくれました。

裾野市の印象は「自然が豊かで、毎朝清々しい気持ちになれる。市民の皆さんは、裾野に対する思いも強くて、温かい。これからもっともっと、いろんな場所を回ったり、いろんな活動に参加したりしたい」とのこと。岩手県庁に出向していた頃には、休日に地域活性化のイベントを企画していたこともあったそうです。

「良いサービスをつくっていく過程が本当に好き。少しでも皆さんの役に立ちたい」と笑顔で答える及川副市長。若き副市長が力強い抱負を語り、新しい風に期待が高まります。



susonobito No.39

表紙 Front cover



手を上げて渡ります！

東小学校1年生の交通安全教室の様子です。交通安全指導員の指導をしっかりと聞き手を上げて横断歩道の渡り方を学んでいました。